

「木と触れ合う暮らしを」

10月9日(日) 穂高小田さん 高松さん 共同展



小田さん(右)が手がけた
遊具(手前)と高松さん

大町市美麻の木工作家、小田時勇さん(52)と安曇野市穂高の建築士、高松伸幸さん(39)は21日まで、初の共同展「暮らしのなかの木と家具展」を同市穂高の礒山公園研成ホールで開いている。子供たちも楽しめるワークショップや家造り相談なども行い、「木と触れ合う暮らしのよさを、見詰め直す機会にしてほしい」としている。(高山佳晃)

木のぬくもりを生かした住まいやものづくりに対する2人の考えも同じだったため実現した。2人が出会ったのは6年前。高松さんが設計管理する住宅で、小田さんのキッチンカウンターを採用したのがきっかけ。以来、公私ともに良き理解者であり、パートナー。通常、建築士は発注、作家は受注と一方通行の関係で、共同展は珍しい。

小田さんは「クラフトフェアまつもと」立ち上げ(1985〜昭和60年)の中心人物。現在、NPO法人松本クラフト推進協議会理事で、大町市美麻の工房で制作に取り組む。高松さんは、JR穂高駅近くに「高松建築工房」を構える。「木づくりの家」を手がけ、

県農園育成サポーター
展示する。
午前10時〜午後6時
(17日は午後1時から、21日は午後3時まで)。
ワークショップは18〜20日(随時)で材料費1500円。木製プローチなどを作る。
高松建築工房 ☎82・1260

桜やクルミなど木の持ち味を生かしたオリジナル家具、三鷹の森ジブリ美術館カフェ(東京都三鷹市)で採用された客席、実際に遊べる木製遊具なども

木と触れる生活提案

10月6日(日) 小田さん 高松さん 共同展

家具や遊具などをさまざまな木工品を紹介し、木と触れ合った生活を提案する「暮らしのなかの木と家具展」が十七日から



小田さん(左)と高松さんが
木と触れ合う家づくりの展
示会をする

二十一日まで、安曇野市礒山の礒山公園研成ホールで開かれる。タイムスケジュールやキッチンカウンター、シーソーや額面の展示をはじめ、家具やリフォームの相談コーナーを設ける。木工品や設備家具の製作に取り組みJIO工房(大町市、小田時勇さん主宰)と、木造住宅の設計を手掛ける高松建築工房(安曇野市穂高、高松伸幸代表)が安曇野市

内で初めて企画した。小田さんは桜やクリ、クルミを使ったオリジナル家具や木工品を製作している。東京都の「三鷹の森ジブリ美術館」では家具部門のスタッフとして、カフェで使われるい

す作りも手掛けた。ものづくりに対して「若い世代に関心を持ってもらえればうれしい」と話す。高松さんは「家造りは暮らしづくり。素材の良さを大事にした小田さんの作品を多くの方に知っ

てほしい」と、来場を呼び掛けている。

時間は十七日が午後二時から、十八日以降は午前十時〜午後六時(二十一日は午後三時まで)。十八〜二十日はペンタントやプローチ作りもある

(材料費は実費)。
詳しくはホームページ
<http://www.takamatsu-log.com/>。問い合わせは高松建築工房(☎0263・82・1260)へ。
(青柳文彦)

高松建築工房(☎0263・82・1260)へ。
(青柳文彦)